

認知症に関する活動計画(概要)

東京都作業療法士会では、認知症の人と家族の生活支援委員会を組織し、東京都民や作業療法士に対して、認知症における作業療法の普及啓発活動を実施している。

主な活動内容としては、研修会の企画・運営、広報活動、認知症に関わる作業療法士の育成事業等を実施している。

1. 研修等事業
 - ① 東京都作業療法学会内セミナー
 - ② 認知症カフェの研修
2. 普及啓発事業
 - ① 機関誌への執筆
 - ② 都民向けブログの運営
 - ③ 東京新聞ヘルスケアメイツ事業への協力
3. 育成事業
 - ① 認知症アップデート研修

東京新聞ヘルスケアメイツ事業

昨年度は東京新聞とのコラボ企画である東京新聞ヘルスケアメイツを開催した。この事業では、介護予防プログラムを運営できる地域住民を育成することを目的として参画している。地域住民のファシリテーターが育ち、住民主体での実施ができるようになってきている。25年度は会社事情により休止。



認知症カフェの啓蒙活動

作業療法士向けに認知症カフェを開催。認知症カフェに興味のある方が参加し、講義と座談会を行って理解を深めた。東京都作業療法学会では認知症カフェの体験会を実施。昨年度は実際に行っている団体、今年度は認知症の当事者をお招きし、実際のカフェの様子や認知症になった時の心情などをお話してもらった。認知症カフェに行ったことがないという参加者が多かったが、実施後は行ってみたいという意見が多く聞かれた。



都民向けブログ

都民へ向けての普及啓発活動として、ブログの運営を行なっている。ブログは、委員が持ち回りで執筆し、認知症に関する情報を専門職でない方に向けて発信している。

